

人つとい、共に築く、
幸せと豊かさを
実感できる町

みさと



人つとい^わ話の花が咲き、
一人ひとりが共に築く大きな人の^わ輪となって、
幸せと豊かさを実感できる^わ和のある町。
美里町は、そんな“わ”を大切にしています。



人つと、共に築く、
幸せと豊かさを
実感できる町

MISATO TOWN

みさと

目次 Contents

特集 人と地域をつなぐ「わ」

- 2 美里をつなぐ
- 6 美里の元気のもと

第一章 今と昔をつなぐ「わ」

- 10 時をつなぐ ～文化財～
- 12 美里ごよみ ～歳時記～
- 14 大地のめぐみ ～特産品～
- 16 美里のあゆみ ～歴史年表～

第二章 未来と美里をつなぐ「わ」

- 20 一人ひとりが輝き、ともに生きるまちづくり
- 26 美里人 未来を語る！
- 28 美里町ガイドマップ
- 30 美里事典

人と地域をつなぐ

人と地域のつながりが強いまち、美里。地域は人々の生活と心を潤し、ともに歩んできました。この連綿と続くつながりによって、今も多くの人が集い、笑顔がまちにあふれています。



小牛田駅

鉄道が十字に交差するJR小牛田駅は、各方面への通勤・通学者でにぎわいます。



住民バス

町民の皆さんの足として、住民バスが町内を巡回しています。

美里を

つなぐ

Misato — Get Connected

「鉄道の町」として駅とともに歩んできた美里町。多くの人々が行き交い、十字に交差する鉄道が人の心と笑顔をつないできました。



小牛田駅自由通路

駅の東口、「ゆとり〜と小牛田」に直結する美里町の新しい玄関です。

笑顔と笑顔をつなぐ 鉄道とバス



交通の要衝

小牛田駅を結節点として、鉄道が東西南北に走ります。

美里町には、「鉄道の町」として小牛田駅とともに歩んできた100年以上の歴史があります。東北本線、陸羽東線、石巻線が交差する交通の要衝として発展を続け、県内はもとより東北地方各地の人と物をつないできました。

この交通の利便性と始発駅というメリットを生かし、駅の東口に直結した計画戸数670戸に及ぶ大規模な住宅地「ゆとり〜と小牛田」が完成しました。これに合わせて小牛田駅の東西をつなぐ「小牛田駅自由通路」なども完成し、東側に開いた町の新しい玄関として整備が進められ

ています。

また、町内にはだれでも利用できる住民バスと子どもたちの通園・通学時の安全確保のためのスクールバスが運行されています。特に住民バスの実現にあたっては、前例がなかったことから国をはじめとする関係機関との粘り強い交渉が行われ、県内はもとより、全国的にも注目を集め、全国各地で運行されている住民バスの先駆けともなりました。

町内をくまなく走る住民バスとスクールバスは、町の風景にも溶け込み、多くの皆さんに親しまれ、毎日笑顔と笑顔をつないでいます。

The town of Misato is located at the crossroads of the Tohoku Main Line, the East Rikuu Line and the Ishinomaki Line railway lines. The main thoroughfares surrounding Kogota Station, the gateway to Misato Town, are nearing completion. The Kogota Pedestrian Overbridge links the old west-side shopping district to Yutolete Kogota, the new east-side residential district. The municipally-supported Community Bus system, which set a precedent for similar programs all over Japan, is also connecting people. This program along with our School Bus system covers all of Misato connecting the community and bringing smiles.



バス車内

スクールバスの中は、いつも子どもたちの元気な笑顔でいっぱいです。



みさとまち
美里町



鳴瀬川で憩う白鳥

美里町に木枯らしが吹くころ、鳴瀬川の二郷付近には白鳥がひと冬を過ごすためにシベリアから飛来し、美里町の冬の風物詩になっています。



豊饒の大崎平野を寄り添うように流れる江合川と鳴瀬川。
美里町を潤すこの二筋の流れは、
多くの恵みをもたらす母なる川です。

Misato — Get Connected

美里をつなぐ



サケの放流

江合川では毎年、地元の幼稚園児や小学校児童による稚魚の放流が行われます。稚魚は江合川に遡上してきたサケの卵をふ化させたもので、4年後にふるさとの川に戻ってきます。

鳴瀬川でいかだ下り

ふるさとの自然に親しむグリーンアドベンチャークラブの子どもたちは夏休みに鳴瀬川のいかだ下りにチャレンジし、清流の魅力を満喫します。



清流の恵みを楽しむ

水は人が生活していく上でなくてはならないものです。奥羽山系を水源とする江合川と鳴瀬川は、清らかな水を美里の人々にもたらししました。また、江合川と鳴瀬川が長い歳月をかけて堆積した土砂は土地を肥沃にし、美里町を県内でも指折りの穀倉地帯にしました。

江合川と鳴瀬川の果たす役割はそれだけではなくありません。河川空間は、人に潤いを与え、心を和ませる効用があります。そんな水辺の特性に注目し、人が憩う水と緑のオープンスペースとして整備されたのが江合川の牛飼水辺公園です。同公園は、グラウンドゴルフが楽しめるイベント広場やバーベキュー広場、デッキ、トイレを完備し、子どもたちが自然学習できる環境も整備されています。また、春は堤防沿いの桜、初夏はあじさいの花、夏は花火大会など季節ごとに楽しみがあることから、子どもからお年寄りまでさまざまな世代の人に親しまれています。

江合川と鳴瀬川はアウトドアスポットとしても一級品です。夏には、子どもた



牛飼水辺公園

住民が水辺に親しむオープンスペースとして江合川河畔に整備された親水公園です。イベント広場やバーベキュー広場、自然観察のできる中州、あじさい花壇などがあり、住民の憩いの場になっています。



ちが水遊びやいかだ下りに興じ、整備された堤防沿いのサイクリングロードでは水辺の風景を満喫しながらサイクリングが楽しめます。

美里町全域を貫いて流れる江合川と鳴瀬川は、自然の劇場としても貴重な存在です。秋の訪れとともに江合川と鳴瀬川にはサケが遡上してきます。ふるさとの川で生まれたサケは、稚魚のうちに外海に出て、4年の歳月を経て、ふたたび生まれ故郷の川に戻ってきて産卵します。里帰りをしたサケたちが背びれを立てて、一心に上流を目指す光景は感動的です。冬には、シベリアから白鳥たちが飛来し、鳴瀬川でひと冬を過ごします。このように大自然の営みを、まちに暮らしながら接することができるのも母なる川の大いなる恵みの一つです。

かけがえのない地域資源の江合川と鳴瀬川の清流を守り、次代に大切に引き継いでいくのは現代に生きる者の務めです。美里町では、住民が主体となって河川清掃をはじめとする環境美化活動に取り組んでいます。また、環境に対する高い意識を育んでいくため、学校では総合学習の一環として環境教育を行っています。

美里町は、先人から受け継いできた江合川と鳴瀬川の美しい流れとともにこれからも歩み続けていきます。

The rivers that traverse Misato Town bring comfort. The banks of the Eai-gawa River and the Naruse-gawa River provide opportunities for recreation and relaxation. The rivers also feature various natural wonders, such as the salmon winter run and the swan migration. The town protects its natural resources through river cleaning and ecological education programs-preserving their beauty for future generations.

中埴小学校の子どもたちは、地元を流れる江合川支流の美女川の美化を呼びかける看板をデザインし、設置しました。





中学生英会話コンテスト

町の国際交流協会では、町内の中学2年生を対象に英会話コンテストを開催し、入賞者を姉妹都市の米国ミネソタ州ウイノナ市に派遣しています。

SLの体験試乗

子どもたちが、いろいろな機会にさまざまな体験ができるよう取り組んでいます。観光イベントで運行されたSLの試乗に、子どもたちは大喜びでした。



SLと一緒に
ピース！

みんなで
寝るのって
ワクワクする



合宿通学

親元から離れての5泊6日の合宿通学には小学校3年生から6年生までの異なる年齢の子どもたちが参加します。普段はなかなか経験できない集団生活を通じて、豊かな心と社会性が育まれます。

多彩な体験活動を展開

地域社会の発展の鍵を握るのは次代を担う子どもたちです。社会情勢など子どもを取り巻く環境が激変し、子育てが難しくなっている中、美里町は子どもたちの心身ともに健やかな成長を願ってさまざまな取り組みをしています。

そんな取り組みの一つが、人とふれあい、さまざまな体験をする機会の提供です。「こどもふれあいまつり」は、子どもたちのための一大祭典です。会場の牛飼水辺公園には、大型迷路コーナーをはじめ体を動かしたり、

知的好奇心を引き出す体験コーナーが設けられ、大勢の子どもたちでにぎわいます。南郷支所で開催される「なんごうこどもまつり」もバラエティに富んだ遊びコーナーが人気です。

また、小学生が親元から離れ、町の施設で共同生活をしながら学校に通う「合宿通学」はユニークな育成プログラムです。5泊6日の共同生活は子どもたちの自立心を育むとともに異年齢の仲間とふれあう貴重な機会になっています。

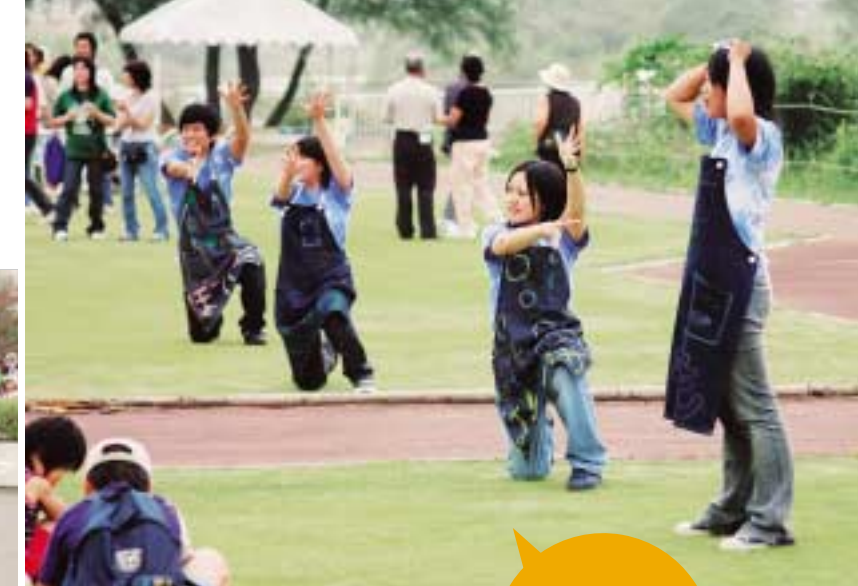
Children have the power to bring us energy and happiness. Misato Town values the healthy development of its children, both mentally as well as physically. The town organizes, supports, and provides various events and opportunities in which children can learn early on about inter-personal relations and cooperation in the community. Some of the events include the Children Friendship Festival and the Nango Children Festival. Also a unique communal experience camp was created for elementary school students; they lodge together and go to school from a town facility for several days.

的の中に
入るかな？



なんごうこどもまつり

遊びコーナーには町で盛んなニュースポーツのフライングディスクの体験コーナーも設けられ、子どもたちに人気です。



こどもふれあいまつり

こどもふれあいまつりには、高校生のジュニアリーダーがスタッフとしてまつりの運営に参加し、イベントを盛り上げます。

みんなで体を
動かすのって
楽しいよ！



美里の 元気のもと

Children - the source of Misato power

まちを明るく元気づけてくれる子どもの笑顔を守るため、美里町はまちぐるみで子どもたちの成長を温かく見守っています。

上手だね！
その調子！

負けないぞ！



こどもふれあいまつり

「びよんびよん」とびコーナー」など身体を思い切り動かせるユニークな企画がもりだくさんです。

つなぐ わ

第二章

A timeless loop connecting
today and yesterday

今と昔を

美里町の多彩な魅力は、時間とともに積み重ねられた
伝統に裏打ちされています。
地域の伝統を象徴する文化財や年中行事は、
過去と現在のつながりを感じさせてくれる有形無形の貴重な財産です。

力くらべでは
負けないぞ！



ちびっ子相撲大会

開催回数が30回を超す伝統のある
大会で、牛飼公園相撲場で、幼稚園
園児から小学生までの男女が熱戦
を繰り広げます。

ゴールめざして
ファイト!!



ひとめぼれマラソン大会

町内外から約800人のランナーが
参加します。親子ペアや小学生、
中学生の部もあり、毎年大勢の子
どもたちが参加します。

ちゃんと
できるかな？



親子森林探検隊

小牛田農林高校の学校林開放講座の
一環として開催される講座で、里山
散策や自然観察を親子で体験します。

自然体験を通じて成長

美里町は、豊かな自然環境を活か
し、子どもたちにさまざまな自然体
験の機会を用意しています。小学生
を対象にした自然体験プログラムの
「グリーンアドベンチャークラブ」や
親子で野外活動に親しむ「親子森林
探検隊」、他の地域の子どもたちと体
験交流を行う「こども体験交流村」
などの活動には、大勢の子どもたち
が参加しています。また、各種スポ
ーツ教室や大会も実施し、子どもた
ちの心身の健やかな成長を応援して
います。

To give children many chances to experience nature directly,
Misato Town provides various opportunities, such as the
Green Adventure Club program, the Parent-child Forest
Expedition program, and the Experience and Interaction
Village for Kids.

美里の 元気のもと

田植えて
難しいけど
おもしろい！



こども体験交流村

農業の盛んな美里の子どもたちが他
の地域の子どもたちと互いの地域の
暮らしを1泊2日で体験しあいます。

時をつなぐ【文化財】

長い歴史を育んできた美里町には文化財が数多くあります。何代にもわたって受け継がれてきた文化遺産には、先人の想いが込められています。



鶴頭城跡
文献によれば、鶴頭城は中世には豪族の居城であったとされています。現在、本丸があった場所は鶴頭公園となっており、多くの人が利用しています。



木間塚神明社
天正19年（1591）に当地に遷座されました。かつては北斗星をまつり、妙見堂と呼ばれていましたが明治維新後に神明社と改称しました。

地域の歴史の語り部

江合川、鳴瀬川が潤す豊かな美里の地には、縄文時代から人々が住み着いていました。はるか昔の人々の暮らしぶりは町内から数多く発見された遺跡からうかがうことができます。美里町を含む大崎地方は、古墳時代における文化の中心地だったことから町内には古墳も多く、日本最北の古墳群地帯として知られています。眺望のよさで知られる鶴頭公園は、かつてこの地に築かれた鶴頭城の城跡です。鶴頭城は中世の地方豪族、有壁撰津守の居城と伝えられ、藩政確立後の元和6年（1620）に後藤近元が現在地に移封されました。昔から人々の心を支えてきた信仰の対象となるのが寺社です。町内には、東北一円から安産の神として崇敬された山神社、歴史の古い塩釜神社や不動明王で有名な神寺松景院などの寺社があり、今も地域住民の心のよりどころになっています。



史跡 山前遺跡
縄文時代から中世にかけての遺跡・遺物が発掘された大規模複合遺跡です。昭和51年の国史跡指定を機に史跡公園として整備されています。



木間塚十王山の榎の木
木間塚地区の十王山公園にある榎の木で樹齢は700年とも800年とも言われています。一時期、樹勢が弱まりましたが、地元の有志によって手当てが施され、元気な姿を取り戻しました。



保土塚古墳
小牛田公園内にある古墳時代中期の古墳で直径50mの円墳状をしています。元々の形状は前方後円墳で、後に方形部分が欠損したとする説もあります。

Believed to be settled since early civilization, Misato Town is rich in historic sites such as the Jomon prehistoric habitation sites, the Kofun ancient tombs, the Medieval Kakuto-jo Castle, as well as long-standing temples and shrines such as Yamano-kamisha Shrine where expectant mothers pray for easy deliveries, the ancient Shiogama-jinja Shrine, and the historical Kimazuka-shinmeisha Shrine.



神寺松景院の不動明王
開山400周年記念に建立された神寺不動尊は、極彩色を施した木芯塑像で、像高7 m、総重量40 tの規模は日本最大級です。

山神社

コノハナサクヤヒメ・オオヤマクイノミコト・天照皇大神・応神天皇を祭神とし、子授け・安産の神様として古くから東北地方で信仰されています。神社周辺には“産声の道”という遊歩道が整備されています。



小正月に山神社で開催される県北地方最大のどんと祭です。各家庭から持ち寄られた正月飾りが境内にうず高く積み上げられ、夕方5時に御神火が点火されます。闇夜に幻想的に燃え盛るかがり火が境内を照らし出し、つめかけた参拝客は炎に向かって家内安全や無病息災を祈願します。また、厳しい寒さの中で裸参りや勇壮な和太鼓演奏も行われます。縁起物のまといや熊手、祭り名物の「どんとそば」などの屋台も軒を連ね、祭りを盛り上げます。

こごたどんと祭

年の瀬の12月29日に小牛田駅前公園で開催される歳末恒例行事です。たくさんのお店が軒を連ね、しめ飾りや餅、花、海産物など、年越しや正月用品を買い求める皆さんでにぎわいます。



歳の市

小牛田地区で開催される真夏のイベントです。8月初旬に行われる本まつりでは和太鼓グループの競演や

おんべこ郷夏まつり

小牛田地区で開催される真夏のイベントです。8月初旬に行われる本まつりでは和太鼓グループの競演や



子どもみこしパレード、「やっぺし風天おどり」など華やかな催しが繰り広げられます。8月中旬に牛飼水辺公園で開催される花火大会は、大勢の観客が光の饗宴に酔いしれます。

菊まつり

秋も深まった10月下旬から11月上旬の2週にわたって開催されます。町内はもとより近隣市町から約600鉢の菊が出品され、期間中は大勢の皆さんが会場を訪れます。優秀作品には農林水産大臣賞や宮城県知事賞の贈呈もあり、県内でも屈指の菊花展となっています。



美里 ごよみ

【歳時記】

Misato Calendar

美里町では春夏秋冬、多彩な祭りが繰り広げられます。歴史のある祭と新しい祭りが、地域の人々の心を世代を越えて一つにします。

桜まつり

桜が見ごろを迎える4月中旬に、町内の桜名所の小牛田公園や十王山公園で開催されます。ステージイベントや出店などの催しが行われるほか、小牛田公園では桜のライトアップも行われます。



木間塚神明社 例大祭

若い衆によって担がれるみこしは「荒れみこし」として名高く、ほら貝や太鼓を鳴らしながら勇ましく氏子地区を一巡します。鳴瀬川でみそぎを行った後、神社に戻り、境内で勇壮に演じられる競り合いは見ものです。



活き生き田園 フェスティバル

美里町に夏の訪れを告げる住民総参加のイベントで、6月第2土曜と日曜の2日間にわたって開催されます。足踏み脱穀機麦こき大会や世界一の大俵引き、米俵ピラミッドアタックなど農業のまちらしいユニーク

な催しと、住民による音楽の演奏や郷土芸能の発表など魅力的な企画が目白押しです。また、野菜の収穫体験など消費者と生産者をつなぐ交流会も行なわれるなど、農業と田園の魅力のアピールする美里町民のパワーと活気あふれる2日間です。



塩釜神社大祭

二郷地区の塩釜神社では11月初頭に大祭が行われます。稚児行列では、翌年の春、小学校に入学する子どもたちがそろいの衣装を着て行列します。



大地のめぐみ

Gifts from the land

【特産品】

農産物に代表される美里町自慢の特産品は豊饒の大地からの贈り物。どれもが五感に響く逸品です。



バラ

栽培品種は30種を超え、農林水産大臣賞をはじめさまざまな賞に輝くなど品質は市場から高く評価されています。

味噌・醤油

大崎平野は大豆の名産地です。肥沃な土壌が育んだ地元産大豆と江戸時代から続く伝統の技が組み合わさって豊かな風味を生み出しています。



地酒

県内でも稀少になった山廃仕込を受け継ぎ、旨みとこくがあり、あきのこない味わいにこだわった美里町を代表する地酒です。



珠玉の美里ブランド

町面積の約70パーセントを農地が占める美里町は実り豊かな農業のまちです。一面に広がる大区画の水田では、ササニシキやひとめぼれといった銘柄米が生産されています。ナシも北浦梨として人気があり、トマトやイチゴ、糸みつば、大葉、花きといった施設園芸も盛んで、特に町花にもなっているバラは出荷量、品質ともに全国でトップクラスです。

これらの多彩な農産物に付加価値をつける加工品のラインナップも豊富です。伝統製法でつくられる地酒や味噌・醤油といった醸造製品、ハム・ソーセージ、餅などの加工品はスローフードのよさがつまっています。豊かな大地と澄んだ水と空気を、そして美里の人たちによって積み重ねられてきた努力が美里ブランドの魅力を支えています。

Approximately 70 percent of the town is covered by farm land. Naturally, Misato depends highly upon agricultural products, the primary one being Sasanishiki Rice. Other local specialties include fruits (pears and strawberries), flowers (rose is our town flower), as well as secondary products such as sake, soy sauce, and cakes.



1

- 1 ナシ
- 2 まんじゅう
- 3 うどん
- 4 イチゴ
- 5 ハム・ソーセージ
- 6 餅

その他の特産物

葉もの野菜、イチゴやナシなどの農産物からうどんやお餅、手づくりハム・ソーセージ、菓子などの農産加工品まで豊富なラインナップと自然の恵みを満喫できる味わいが美里ブランドの魅力です。



2



3



4



5



6

特産品直売所

美里町の農産物や加工品を生産者が直接販売する場が『花野果（はなやか）市場』と『こごた朝市』です。『花野果市場』は、朝採りの野菜や果物、生花など旬の農作物を1年を通じて販売しています。また、手づくりの味噌や豆腐、ソーセージ、おふくろの味が人気のそう菜などバラエティに富んだ農産加工品も取りそろえています。『こごた朝市』は、小牛田駅近くの駅前公園と商工会館前で5月から10月の日曜日に開催されます。どちらも生産者の顔が見える直売ならではの確かな品質と温かなふれあいが好評です。



花野果市場



こごた朝市

美里のあゆみ

【歴史年表】

History of Misato

明治22年（1889）の市町村制施行から昭和29年（1954）の小牛田町、南郷町の誕生、平成18年に合併し美里町が誕生するまでの歴史を紹介します。

明治22年	● 4月	市町村制施行。村々が合併し、小牛田村、不動堂村、北浦村、中埜村、南郷村が誕生
明治23年	● 4月	東北鉄道小牛田駅開業
明治26年	● 11月	南郷高等小学校の校舎新築
明治27年	● 7月	村立南郷消防組結成
		木間塚橋架橋
明治29年	● 5月	南郷村役場庁舎完成
明治32年	● 砂山小学校焼失、新校舎建築	
明治33年	● 5月	陸前北部地震（小牛田地震）発生
明治34年	● 3月	彫堂小学校が移転新築
明治37年	● 1月	南郷小学校校舎火災
	● 12月	南郷小学校校舎新築
明治40年	● 4月	小牛田村が町制施行し小牛田町誕生
	●	南郷郵便局開設
大正2年	● 4月	藤ヶ崎町に小牛田駅移転開業
	● 4月	南郷村に配電
大正3年	● 9月	小牛田町、不動堂村に配電
	● 9月	北浦駅開業
大正4年	● 11月	小牛田町青年団発足
大正5年	● 6月	小牛田駅前郵便局開局
	●	小牛田町に遠田家畜市場開設
大正6年	●	江合川、鳴瀬川合流工事開始
大正10年	●	南郷、二郷小学校が合併



昭和29年
南郷町制祝賀パレード



昭和29年
小牛田町開庁式

昭和24年	● 南郷村農業共済組合、農業協同組合設立
● 8月	小牛田中学校校舎完成
● 10月	遠田郡畜産農協和牛登録開始
●	中埜中学校校舎完成
●	南郷農高が女子普通科設置
昭和25年	● 4月 不動堂村が町制施行し不動堂町誕生
昭和26年	● 10月 小牛田地区警察署発足
昭和27年	● 6月 不動堂中学校校舎完成
昭和28年	● 12月 北浦中学校校舎完成
●	二郷保育園開設
昭和29年	● 4月 小牛田町、不動堂町、北浦村、中埜村の4町村が合併し小牛田町誕生
● 7月	南郷村が町制施行し南郷町誕生
● 8月	住民投票により小牛田町に敷玉村青生地区編入
昭和30年	● 12月 小牛田町役場庁舎、藤ヶ崎町に完成
昭和31年	● 1月 小牛田町北浦西部地区が古川市へ編入
昭和32年	● 3月 小牛田町町営グラウンド完成
● 4月	小牛田町が国民健康保険全町実施
● 7月	小牛田町商工会設立
昭和34年	● 5月 三笠宮妃殿下が、南郷町母子愛育会総会御来臨
● 5月	南郷町が新農山漁村建設事業実施地域指定
昭和35年	● 6月 小牛田駅駅舎完成
昭和37年	● 8月 陸前谷地駅開設
● 4月	県立小牛田ろう学校完成
昭和38年	● 4月 宮城県北部地震発生
● 3月	小牛田町が交通安全都市宣言
● 4月	大崎東部衛生処理組合設立
昭和39年	● 5月 南郷町立小中学校給食センター建設
● 8月	小牛田町立老人ホーム「ひばり園」完成
● 10月	南郷町立小島分校廃校。スクールバス通学開始
●	南郷町上水道完工



昭和43年
特急やまびこ 小牛田駅に停車



昭和40年代
在りし日の野田倶楽部



昭和40年ごろ
小牛田駅前

大正12年	8月	不動堂小学校校舎新築
昭和元年	11月	齋藤報恩農業館開設
昭和3年	3月	彫堂小学校廃止
	12月	不動堂村上水道送水開始
		練牛小学校が現在地に移転
昭和4年	11月	北浦・青生小学校校舎新築
		大柳郵便局開設
		南郷村農会創設
昭和5年	11月	遠田郡畜産組合設立
昭和6年	3月	南郷村立高等国民学校開設
		感恩橋・木間塚橋架設
昭和8年		南郷村立診療院開院
昭和10年		木間塚有隣館完成
昭和12年		南郷村で満州分村移民開始
昭和14年	8月	中埜郵便局開局
昭和18年		南郷村が全国標準農村計画村指定
昭和20年	8月	小牛田駅爆撃
昭和22年	4月	南郷中学校開校
昭和23年	3月	遠田郡畜産農協設立
	4月	小牛田農林学校が新制高校になる
		南郷村消防団結成
		南郷農学校が県立南郷農業高等学校になる
		南郷中学校校舎新築竣工

昭和40年	4月	小牛田保育所開設
昭和40年	7月	南郷町児童館建設
昭和40年	7月	出来川橋竣工
昭和41年	11月	大崎東部衛生処理場完成
昭和42年	4月	大崎地区消防事務組合設立
昭和42年	4月	小牛田町が「小牛田音頭」発表
昭和43年	4月	小牛田橋落成
昭和43年	5月	小牛田、北浦、不動堂の各農協が合併し、小牛田町農協発足
昭和43年	12月	小牛田町の駅前東地区土地区画整理事業完成
昭和44年	3月	南郷町が明治百年記念事業として「先賢の碑」等の標柱設置
昭和44年	3月	中埜簡易水道完成
昭和44年	12月	小牛田町の山の神団地完成
昭和45年	7月	南郷町の学校給食がパンから米飯補食給食に切り替え
昭和46年	8月	米作生産調整実施
昭和46年	8月	大崎地域広域行政事務組合設立
昭和47年	5月	南郷幼稚園開園
昭和48年	12月	小牛田町役場庁舎、駒米に完成
昭和48年	3月	小牛田町の大口団地完成
昭和48年	3月	南郷町役場西庁舎完成
昭和48年	4月	小牛田駅前公園完成
昭和49年	6月	小牛田町で「こごた朝市」始まる
昭和49年	8月	小牛田町粗大ゴミ処理場完成
昭和49年	1月	「こごた」と「祭」初開催
昭和50年	3月	小牛田町の蜂谷森団地完成
昭和50年	8月	小牛田町公民館・母子健康センター完成
昭和51年	11月	小牛田町全域に上水道整備完了
昭和51年	1月	第1回「はたちの大行進」開催
昭和52年	3月	山前遺跡が国史跡指定
昭和52年	4月	不動堂小学校新校舎完成
昭和52年	9月	小牛田町の山前団地分譲開始

美里のあゆみ

昭和53年	1月	小牛田町が「町民憲章」制定
	3月	南郷町立町民体育館完成
昭和54年	6月	宮城県沖地震発生
	2月	南郷町立みなみ幼稚園完成
	5月	小牛田町文化会館完成
	11月	青生小学校新校舎完成
	11月	感恩橋完成
昭和55年	3月	小島簡易水道完成
昭和56年	3月	南郷町立歯科診療所完成
	10月	小牛田町農業者トレーニングセンター完成
昭和57年	1月	南郷町が天災融資法による特別被害地域（激甚災害）指定
	3月	小牛田地区公民館完成
	3月	南郷町が防災行政無線運用開始
	3月	南郷町母子健康センターの助産部門廃止
	7月	南郷町農村環境改善センター完成
昭和58年	4月	小牛田町役場窓口業務にコンピュータ導入
昭和59年	1月	南郷町歯科診療所が一般患者の診療開始
	3月	中坪地区公民館・勤労青少年ホーム完成
	12月	小牛田町が「非核平和都市宣言」
昭和62年	12月	南郷町が「非核・平和宣言」
平成元年	4月	南郷町役場新庁舎完成
	7月	南郷町が「町民憲章」制定
平成2年	5月	近代文学館完成
	6月	第1回「活き生き田園フェスティバル」開催
	7月	インターハイ開催
平成3年	3月	大崎東部クリーンセンター運転開始
	3月	南郷保育所完成
平成4年	4月	南郷町健康づくりの広場完成



平成4年
天皇・皇后両陛下、南郷町御来町



平成15年
宮城県北部連続地震



平成18年
美里町開町記念式典

平成5年	11月	第1回「ひとめぼれマラソン」開催
	11月	南郷町地域ケア拠点施設活き生きセンター」完成
平成6年	12月	南郷スイミングセンター完成
	4月	小牛田町健康福祉センター「さるびあ館」完成
平成7年	4月	南郷町立南郷病院移転新築
	8月	南郷町交流館「でんえん土田畑村」完成
	4月	特別養護老人ホーム「いなほの里」開所
平成8年	10月	小牛田町住民バス「おんべこ号」運行開始
	3月	南郷町学校給食センター完成
平成11年	3月	みやぎ総合家畜市場オープン
	7月	南郷町子育て支援センター開所
平成12年	3月	砂山小学校閉校
平成13年	4月	農産物直売所「花野果市場」オープン
	8月	国道108号小牛田バイパス開通
	9月	小牛田町が米国ウイノナ市と姉妹都市締結
	10月	みやぎ国体開催
平成14年	5月	鳴瀬川中流堰完成
平成15年	7月	宮城県北部連続地震発生
平成16年	3月	小牛田橋完成
	4月	南郷町シルバー人材センター設立
平成17年	11月	小牛田町、南郷町町制施行50周年
	2月	小牛田町・南郷町合併協議会設立
	3月	小牛田町・南郷町合併協定調印、新町の名称「美里町」に
	4月	幼稚園・保育所一体施設「げんきどーむ」完成
平成18年	1月	美里町誕生

第二章

A loop connecting
Misato with the future

未来と美里を

つなぐ

わ

夢と希望を未来へつなぐため、
住民と行政が手を取りあい、
ともに考え、ともに汗を流して
まちづくりに取り組んでいます。

健康やかで安心な
まちづくり
A town of health and safety



親子ピクス

Misato Town intends to build a society in which people are self-sustaining, live safely, and work actively throughout life. To realize lifelong health and to curb the number of bedridden elderly, the town supports and promotes health-enhancing programs, a regional medical care system as well as parental education programs according to local welfare guidelines.

生涯健康を支援・促進
生活支援システムとノーマライゼーションの理念に基づく『地域福祉計画』を策定し、住民のだれもが自立し安心して暮らすための多様な福祉サービスの充実を努めるとともに、住民一人ひとりがいきいきと活動する福祉のまちづくりを目指しています。
保健・高齢者福祉では、寝たきり・要介護者をつくらない元気な長寿社会をつくるため、高齢者の健康づくり活動の推進や体制の充実を図っています。また、医療分野においては、周辺自治体との連携強化を図りながら地域医療体制を進めるとともに、障害者を地域で支える地域型福祉社会の実現に取り組んでいます。そのほか、親と子どもたちが多くの仲間と触れ合えるよう、子育てサークルの組織化や活動支援などを行い、子育て支援の充実を図っています。



町民の健康を守る町立南郷病院



高齢者の健康づくり

生涯を通して学び
楽しむまちづくり
A place to enjoy a lifetime of learning



流水運動教室

In order to build a town where residents can enjoy culture, sports and a lifetime of learning, Misato town has several guidelines and projects that support pre-school, public, and social education along with region-promoting activities such as arts and crafts, cultural activities and "sports for life" programs.

住民の学習ニーズに対応
子どもから高齢者まで、あらゆる世代の人が、生涯を通して学び、文化やスポーツを楽しむ「生涯を通して学び楽しむまちづくり」を目指すために『生涯学習振興計画』『町教育ビジョン』『スポーツ振興計画』を策定しています。
これらに基づき、生涯学習の総合的な推進体制の整備や一人ひとりが学ぶ大切さと喜びを知ることができるよう社会教育の充実を図っています。また、就学前教育や個性・心・基礎学力を重視した学校教育の充実、ジュニアリーダー養成など青少年の健全育成を進めています。そのほか、地域の特色を活かした芸術・文化活動の振興、関根神楽など郷土芸能の継承や活動支援、健康と生きがいをつくる生涯スポーツや地域スポーツなどスポーツレクリエーション活動の振興を図っています。



資料が充実している図書館



文化会館での仙台フィル演奏会

暮らしやすさを実感
できるまちづくり
A town that is comfortable to live in



防災訓練

The town's primary responsibility is to provide people with safety, security, and comfort surrounded by the wonders of nature. To accomplish this, Misato Town is undertaking various operations and programs such as land-use planning, road and public transport management, fire protection and emergency services, disaster prevention, water and sewage management, landscape and public green zoning, etc.

安全に安心して、美しい自然の中で快適に生活できる「くらしやすさ」を実感できるまちづくり」を目指しています。

『国土利用計画』と『都市計画マスタープラン』の策定から総合的な土地利用構想を明確にして、まちの市街地・集落の計画的な整備を行うとともに、広域幹線道路や生活道路の整備、鉄道やバス交通の維持・充実、地域情報機能の充実を図っています。また、消防・救急体制の充実と宮城県沖地震などに備えた防災体制の推進、交通安全・防犯体制を確立し、住民が安心して日々の暮らしを過ごせる災害に強いまちづくりを進めています。そのほか、自然環境や景観の保全・創造、環境衛生や公害防止に取り組むとともに、住宅地の販売促進や公園・緑地・広場の整備、上下水道の整備などを進めています。



新しい街「ゆとり〜と小牛田」



町民の生命と財産を守る消防団

力強い産業が
いきづくまちづくり
A town of growing business



農作業風景

Active lives are supported by active businesses. Misato Town assists the development of human resources for the next generation agricultural industry. The town supports and promotes the renovation of local shopping malls and campaigns to generate MISATO brand awareness. It also provides a fully-integrated service for business entities considering operations in Misato. The town encourages business development under its general policy for industrial promotion.

総合的な産業振興の方針のもとに、住民が誇りをもって働くことができ、力強い産業がいきづくまちづくり」を目指しています。

現在、美里町の特色のある農業農村の健全な発展を図るために、次代を担う経営感覚に優れた担い手や経営体の育成確保を図るとともに、多面的機能や景観の維持・向上に努めています。

また、魅力的な商店街づくりや美里ブランドの確立を推進するとともに、新たな観光資源の発掘と観光ネットワークの形成に取り組んでいます。

特に、企業立地については、既存企業の支援はもちろんのこと、新規進出にあたっては、各種優遇制度と併せ、検討段階から立地・操業に至るまでの各種サポートをワンストップで対応しています。

産業を総合的に振興



県知事による町内企業訪問



農家レストラン



議会

議会



役場窓口

To reflect the opinions of people in municipal policy as much as possible, the Misato Town Assembly, consisting of 18 councilors, debates reforms toward active and efficient assembly. In the meantime, the municipal government sets out general reform guidelines for personnel awareness, human resources training, and electronic municipality in order to provide better services to residents.

住民の声を施政に反映
美里町議会は町民から選出された18名の町議会議員から構成されています。自治体の議決機関として、約2万6千人の町民の声を審議の場により反映させていくため、議会の活性化を図るとともに議会改革に取り組んでいます。
美里町は、地方分権の進展など地方に押し寄せる時代の変化に対応していくため、『美里町行政改革大綱』を策定しています。この大綱に基づき、まちづくりを進めていく上で不可欠な住民と行政の信頼関係を構築し、住民の声を聞き、住民の立場に立った行政サービスを提供していくため、職員の意識改革や人材育成の強化に取り組んでいます。また、行政ニーズへの迅速かつ的確な業務運用を確立していくために電子自治体を推進するとともに役場窓口や公共施設等の住民サービスの充実や手続き事務の簡素化を進めています。

一人ひとりが輝き、ともに生きるまちづくり
Each resident radiates with happiness and lives in safety and harmony



自立をめざす まちづくり

A self-sustaining community



国際交流活動

Residents and the local government are partners. Misato Town invites active participation of residents in town management, and supports grass-root activities in the local community, by non-profit or volunteer groups. The town also promotes gender-equality, efficient town management and sound financial practices.

住民一人ひとりが主役
住民と行政のパートナーシップから、それぞれが役割を担い、互いに知恵を出し合いながら自立のできるまちづくりを目指しています。
今後のまちづくりは、行政と住民が協働して地域運営やまちづくりにあたるのが大切であるため、分かりやすい行政運営と町政への住民参画の推進を図っています。また、地域活動やNPO活動、ボランティア活動などの住民活動の活性化に取り組むとともに、ウイノナ市などの国際交流や国内での地域間交流、地域内交流など、交流事業の促進に努めています。そのほか、非核・平和都市としての平和行政の推進、『男女共同参画推進基本計画』の策定や普及・啓発事業など、男女共同参画社会の推進を図っています。そして、総合計画の進捗管理や協働システムの制度化など、行財政運営の健全化に取り組んでいます。



平和事業



歯科ボランティア養成講座



美里人^{みさとびと} 未来を語る！^{みさと}

Misato people speak on the future

魅力いっぱいの美里町。
夢や希望あふれる未来を、私たちが発表します！



美里町で暮らす
皆さんに
聞きました！



美里町って どんなところ？

町 名：美里町（みさとまち）
面 積：75.06km²
人 口：26,307人（H20.1末現在）
世 帯 数：8,355世帯（H20.1末現在）
所 在 地：〒987-8602
宮城県遠田郡美里町北浦
字駒米13番地

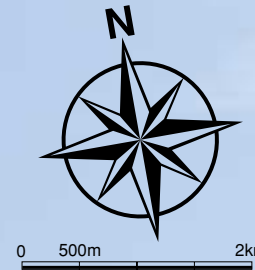
美里町は平成18年1月1日、宮城県北東部に位置する遠田郡内の小牛田町・南郷町2町が新設合併して生まれた町です。仙台市とは40kmの距離にあり、東北本線、陸羽東線、石巻線が交差する交通の要衝となっています。2本の国道も走り、交通アクセスのよさから、仙台市・石巻市・大崎市の通勤圏として定住する人も多く、宅地開発も盛んです。気候は太平洋側気候で、冬季の降水量が少なく、降雪期間も比較的短いことから、とても住みよい条件下にあります。町の面積の約70%を豊かな水田や畑が占め、この恵まれた土地で営まれる農業が、町の基幹産業となっています。そのほか、宮城県の食糧基地として、コメや野菜はもちろん、果樹や施設園芸もたいへん盛んです。



美里町 ガイドマップ

Misato Town Guide Map

江合川と鳴瀬川に育まれてきた美里町。
地図を片手にまちを散策してみよう！



小牛田地区市街図



南郷地区市街図



美里事典

Misato Guide

美里町は、人や歴史、文化など魅力がいっぱい。その中でも厳選されたキーワードをご紹介します。

●千葉亀雄氏

明治、大正、昭和と、社会的にも文化的にも大きく揺れ動いた時代に、ジャーナリスト、文芸評論家として生きた郷土出身の千葉亀雄氏。鋭い時代感覚で常に未来を意識し、ペンを休ませることなく時代を写し出しました。

近代文学館に併設している千葉亀雄記念文学室には、本人の著書はもちろん、徳富蘇峰から贈られた机や菊池寛、河井醉茗からの手紙、多彩な人々との記念写真や愛用品など約160点もの展示品があります。

●野田眞一氏

野田眞一氏は明治14年（1881）に、美里町大柳に生まれました。自分に財を残すのではなく、人や地域が豊かになることを常に願っていた心温かい人柄で、多くの人に慕われました。氏の残した功績は多く、道路や橋の整備、医院や郵便局、銀行や娯楽施設

「野田クラブ」の建設など、惜しむことなく私財を投じました。中でも文教面の貢献は大きく、校舎や講堂などを整備し、南郷高等国民学校（現県立南郷高校）の創設に尽力しました。

詩人土井晩翠は「徳を積み君がたてにしいさをしをいひ尽くすべき言の葉ぞなき」と氏を詠いました。

●朝日壇の板碑

朝日壇の板碑は弘安2年（1279）に建立されたものです。町内で最も古い時期のもので、板碑は鎌倉時代ごろから故人の追善供養のために石に梵字を刻み建てる風習が盛んになりました。朝日壇の板碑は長年の風化で梵字も建立者も不明です。

また、史実とは別にこの地に「みずいば神様」としてまつられ、次のような伝説が残っています。源（木曾）義仲が、源頼朝・義経と宇治・勢多で戦い、栗津で敗れ死んだのは寿永3年（1184）で、このとき義仲の幼い姫

君が何人かの一族郎党に付き添われて陸奥の国に逃れました。そして、荻塚の東の地まで来て病死しました。それを悲しんだ一族郎党は自害して果てました。あわれんだ里人は、手厚くなきがらを葬り石碑を建てて供養しました。義仲は京都に入って征夷大將軍に任ぜられ、朝日將軍と称されていたことから、それをとって、この地を朝日壇と呼ぶようになったということです。

●寛文事件 伊達騒動

万治3年（1660）、藩主伊達綱宗が不行跡を理由に幕府から隠居を命じられ、幼少の亀千代が家督を相続しました。藩政の実権は伊達兵部宗勝とその側近、原田甲斐宗輔らが握りました。寛文事件はこれに端を発します。

当時、野谷地開発が盛んで、中でも登米、桃生、遠田の3郡は最も盛んでした。この地域を治める伊達安藝宗重と登米伊達式部宗倫との間で、安藝の所領であった二郷谷地（現・二郷地区）

をめぐる境界争いが起きます。

新しく境界を定めるため分割に際し、兵部の手先であった検使今村善太夫らは安藝をわざと不利にしました。安藝は兵部に対決することを決意し、幕府の仙台目付に兵部の悪政を訴えます。問題は一転して兵部による藩政のひずみ摘発へと拡大したのです。

寛文11年（1671）、江戸での裁きの席上、安藝は原田甲斐によって殺されます。兵部は所領を没収、土佐に流され、伊達家安泰が決定し寛文事件は落着をみます。

二郷谷地をめぐる紛争は農民にとっても大事件でした。元禄11年（1698）、境界は昔の通りとなります。30年前の二郷谷地争論の時、安藝の主張した境が正しいものと確認されたためでした。

●満州移民

美里町南郷地域からの移民が、初めて旧満州（現・中国北東部）の大地を踏んだのは昭和12年（1937）4月30日のことでした。昭和11年（1936）3月、南郷高等国民学校の松川五郎初代校長らによって、旧満州への分村移民計画が立てられました。この計画は、過去30年間に2倍になって零細化した小作農家を毎年50戸ないし100戸ずつ計400戸ほどを旧満州へ送り出し、南郷の人々だけで一集落をつくることにより、村内における土地不足解消を図るためでした。

旧満州への移民計画は、政府によっても「二十力年百万戸五百万人送出計

●駅売りとし持ちまんじゅう

小牛田駅で弁当などを売る駅売りが始まったのは明治27年（1894）頃から。1900年代になって「子持ちまんじゅう」が小牛田名物として売り出され、旅客の人気を呼ぶようになりました。

子持ちまんじゅうは、安産の神様として知られた山神社にあやかり、旧小牛田村の鳥羽琢治氏がつくって売り出し、のちに安西惣吉、加藤敏雄に引き継がれたとされます。まんじゅうの中には、子宝のしるしに、さざげ1粒を入れてあるのが特徴で、それがまれに2粒・3粒だったりとすると、子宝の良いお告げだと言って喜ばれたと言います。

その後、戦争の影響で製造中止を余儀なくされ、戦後は「山の神まんじゅう」と改められ販売されてきましたが、平成17年に復活。平成20年にはパッケージがリニューアルされ往年の好評を取り戻しています。

●カリヨンの時計塔

JR小牛田駅の駅前広場にあるカリヨンの時計塔は、1日に8回、5つの鐘が優しい音色を奏で、満天星通りに響きわたります。また、隣には球のモニュメント「四季の珠」があり「地球に平和と緑を」という祈りが刻まれています。

えて進ぜよう」と答えました。

やがて、僧侶は元氣を取り戻したのですが、何をするでもなく、食べたり寝たりの毎日で、念仏修行に身を入れている様子がないことが気にかかりました。孫右衛門が「念仏の御利益はまだでしようか」と尋ねると、僧侶は「私の修行が足りない」と見える。来年の春までお待ちなされ」と答えました。

春が過ぎたある日、いつものように僧侶の朝飯を持って小屋へ入ると、床の上に大きな牛が1匹横たわっており、孫右衛門を見つめたその顔は、なんと、あの僧侶でした。

驚く孫右衛門に僧侶は涙をこぼし「念仏の御利益を知らないくせにあなたをだまし、罰があたってしまいました。これから、家畜となって働きます」と謝罪すると、孫右衛門は「とんでもない。お坊さまを家畜として使うわけにはいきません。それでもとおっしゃるのなら、私も一緒に働き、100年経ったらお坊さまのためにお堂を建てましょう」と答え、それから、牛になった僧侶と孫右衛門は一生懸命働き、村一番の長者になったということです。

●朝日長者と夕日長者

昔むかし、村にある名鱈（なびれ）沼を隔て、東の山の麓に住む朝日長者と西に住む夕日長者と呼ばれる2軒の大地主がいました。

その朝日長者の娘が夕日長者に嫁入りすることになりました。あいにく婚

画」が立てられていましたが、松川氏らの計画は政府の計画より5カ月も早いものでした。実際には計画通りにはいきませんでした。それでも多くの村民が旧満州に渡り、その移民方式は日本全国にも大きな影響を与えました。

昭和19年（1944）に最後の移民団が渡満しましたが、彼らは旧満州での最初の収穫を見ることはできませんでした。第2次世界大戦へのソ連の参戦、そして敗戦によって移民団は厳しい状況に置かれ、多くの命が奪われました。

●牛飼いの長者

今の美里町牛飼は、昔は33戸ばかりの小さな村でした。そのまた昔、幸村と呼ばれていたころ、この村に伊藤孫右衛門というお百姓が住んでいました。孫右衛門の願いは「念仏を一生懸命唱えれば、本当に極楽浄土に行けるかどうかを知りたい」ということでした。

ある日のこと、孫右衛門の家にみずばらしい旅の僧侶が現れました。僧侶は乞食のような風体をしていましたが、どこことなく気品が漂ってもしました。孫右衛門は「厳しい修行を続け、仏の道を極めた人に違いない」と思い、「念仏の御利益を教えてください」と懇願しました。

僧侶は初め困惑したのですが、孫右衛門の熱心さに、「念仏の御利益は、一朝一夕に学ぶことはできない。私が念仏修行に入り、効果が現れたなら、教



美里町長

佐々木 功悦

Mayor of Misato Town Koetsu Sasaki

新たな時代への対応と一層の発展を期するため、小牛田・南郷両町は、合併によって新しい町「美里町」を平成18年1月1日に誕生させました。

私は、今このときをまちづくりの絶好のチャンスとしてとらえ、「一人ひとりが輝き、ともに生きるまちづくり」を基本理念に、将来にわたって心豊かな安心と安全なまちづくりを目指し、町民の皆さんと一緒に協働で力強く邁進する決意でおります。

この要覧は、たゆみなく発展を続ける本町の姿を広く知っていただくために刊行したものでありますが、町勢のあらましをご理解いただくとともに、美里町の一層の発展のために、自由な発想のもと、ご意見・ご提言をいただければ幸いに存じます。

平成20年3月

Misato Town was created January 1, 2006 from the merger of Kogota Town and Nango Town for synergistic benefits in operation and development for a new age. I believe this is a good opportunity for us to redesign and confirm the direction of our town management. Along with the good people of Misato, I dedicate myself to build a community where each and every resident radiates with happiness and lives in safety and harmony. I hope this guide will help you to get a clearer picture of the ever-evolving Misato Town, and I welcome any suggestions and advice for the building of better tomorrow.

町章・町花・町木

(平成18年7月29日制定)



町章

美里町の「み」をモチーフに、さわやかに風が吹く、自然いっぱいの大地をイメージし、住民の団結、自然と住民の調和を表現しています。先人から受け継ぐ歴史と文化を宝に、共に飛躍していく願いが込められています。



町花 ばら(薔薇)

「ばら」は、古代から繁栄と愛の象徴とされています。また美里町民に最も親しまれ、愛されている花です。幾多の花びらの重なるその花の姿は、町民の連帯と未来に向かって潤いのある町づくりを進める美里町にふさわしい花です。



町木 はなみずき(花水木)

「はなみずき」は、春には白やピンクの花が咲き、また秋には赤い実をつけ、紅葉も見事です。美しい環境を大切にし、景観を保全する美里町にふさわしい木です。

美里町民憲章

江合・鳴瀬の清流と豊かな緑に恵まれた美里町に生きるわたくしたちは、輝く未来に向かってみんなが平和で心豊かに暮らせるよう、この憲章を定めます。

- 一、夢と希望を持ち
心身ともに健やかに働く町民になります
- 一、きまりを守り 互いに尊重し合い
助け合う町民になります
- 一、自然に親しみ
美しい環境を大切にする町民になります
- 一、先人をうやまい 共に学び合い
文化を育てる町民になります
- 一、ふるさとを愛するとともに
世界に目を向ける町民になります

平成18年7月29日制定



美里町町勢要覧

発行:美里町

発行年月:平成20年3月

〒987-8602 宮城県遠田郡美里町北浦字駒米13番地

TEL 0229-33-2111 / FAX 0229-33-2402

<http://www.town.misato.miyagi.jp>

制作: (株) ジャパンインターナショナル総合研究所